

9月定例会報告

9月24日(土)午後1時30分～5時

会場：立川・NHK会議室 出席者21名

9月の例会は、アドバイザーに海老沢・森さんを迎え、会員19名と合わせて21名で行われました。

先月に試行した“アドバイザーに会員と向き合って座って頂く”形態がアドバイスを聞きやすいので、恒常化することとしました。

司会進行は渡辺代表幹事が務めました。

1. 放映ビデオの上映と検証

加藤 守さんが録画された「みんなのビデオ」1回分2本を上映し、検証しました。会員の作品はありませんでした。

2. 自主作品の発表と海老沢・森 講評

西尾 尚武さん「雪景色」4分17秒 (HD)



冬の昭和記念公園、2006・2011年をさわやかウィンドー風に編集してみました。

評：落ち着いたしっかり撮り、

几帳面にカット繋ぎして良いが、“さわやかウィンドー風”と言うなら、カットをもう少し長く、落ち着いた感じにしたかった。

大熊 昇さん「影絵の世界」6分30秒 (HD)



9月初旬、甲府市昇仙峡にある「影絵の森美術館」を訪れ、影絵作家藤城清治氏の作品を鑑賞して、その美しさと楽しさを味わいました。

評：カラフルな影絵を初めて見た。面白い作品。頭に現場の雰囲気分かるようなカットが欲しかった。

石原 恙逸さん「羽衣ねぷた祭」9分20秒 (HD)



立川市羽衣町で毎年行われているねぷた祭をデジカムムービーでの夜間撮影に挑戦して撮ってみました。

評：デジカムでも夜もどうにか撮れるようだ。編集はカット繋ぎが基本で、少し効果を使い過ぎている。

もう少し広い画が欲しく、また、少し長かった。

加藤 守さん「三増合戦まつり」8分23秒 (HD)



戦国時代に小田原の北条と甲斐の武田がこの三増で戦った。討ち死にした将兵を供養するお祀りを撮影しました。評：会場全体の様子が分からず、祭り自体がグダグダな所があり(笑い)、ネタとしてどうかという面がある。子供たちのアクションには面白いものがあった。

伊藤 幸晴さん「こうぼくサンクスマッチ」1分59



秒 (HD) 7月30日に日産スタジアムで行われる横浜F・マリノス対大宮アルディージャのゲームの日に、

オーロラビジョンに映し出す映像を依頼されて制作したものです。評：放送と言うことで有名選手が一杯アピールしてくれて良かった。1ヶ所、スーパーが短くて読み切れなかった。翌日に見直せば修正出来るから、実行のこと。

渡辺 實さん「どじょうつかみどり競争」6分11



秒 どじょうを片手でつかみどる競争で、気味悪がる子や楽しいとはしゃぐ子達の手の動きと顔の表情を

追って、声援を送りながら楽しく撮影した。

評：楽しそうな催しで子供たちの顔も撮っているが、もう少し下からアップが欲しかった子もあった。最後の凄い子はすくっている手をもっと見せたかった。

黒澤 真さん「インドの旅 後編」5分46秒 (HD)



ジャイプールより東250Kmにあるアグラ郊外の世界遺産ファーターール・シークリーと、今回の

旅のハイライトのタージ・マハルとアグラ城を訪れます。評：インドの活気がみなぎっていた感じだが、渋滞のシーンは不要かな。同ボジでポンと寄ったが、やるならもっと画角を変えるべきだ。

奥川 實さん「つつじを求めて」4分20秒 (HD)



箱根芦ノ湖畔にある山のホテルのつつじに焦点を合せてカメラを回しました。手持ちのブレがありますが、初めてHDの編集に挑戦しました。評：富士山もよく見えていい雰囲気だった。富士山のパンの終りがプツンと切れた感じでまずかった。お弁当がいきなり出てきたのは、つつじと無関係で唐突感を抱かせた。手持ちにしてはよく頑張ってる。

荒木 勉さん「京都 祇園祭」 8分



京都で毎年7月に行われる祇園祭は日本三大祭りに数えられるものです。初めてナレーションにトライしました。

評：良い場所を占めて車輪などもうまく撮った。何ヶ所か同ポジもあったが、撮りたいものは撮ってあるようだ。ナレーションも雰囲気良かったが、使う言葉は分かりやすい語を選ぶように努めて欲しい。

菅原 正三さん「レンゲショウマ (御岳山)」7分50



秒 (HD) 立川中央ビデオサークルの撮影会です。昨日まで雨降りでしたが、当日は曇りで霧がかかり幻想的でした。

評：霧の雰囲気が非常に美しかった。後半のBGMが映像に合っていなかった。曲調で映像の全体の雰囲気を左右することができるので、要注意。

飯山 一伸さん「北山公園-菖蒲」 6分



東村山・北山公園の菖蒲まつりを20年前と比較しました。カメラ画質の進化は著しいですが、公園の開発により花は年々寂しくなっている

ようです。自然はあまりさわらない方が良いと感じました。評：スーパーが読みづらかった。読ませるための工夫にもっと気を使ってもらいたい。20年前の映像は左右が黒の4:3画面の方がよかった。

みんなの広場



追いつけない

加藤 守

愛知万博で体験したNHKパビリオンのスーパー・ハイビジョンが忘れられない。巨大スクリーンに投射された繊細な映像に感動して質問をした内容は「将来、スーパー・ハイビジョンは家庭用にも普及するのかわ」と、答えは「家庭用は必要ないと思われるのでスーパー・ハイビジョンは劇場用として開発されています」との答えが返ってきた。そのスーパー・ハイビジョンを超える4K・8Kが、いいえもっと凄いものが現れるに違いないと思う。家庭用でもHDを超えるAVCHDが氾濫していてカメラ売り場にはAVCHDしか置いていない。やがてDVが消えるだろう。先が見えない。この先、AVCHDが主流の時代でファイルベース化の映像の保存に悩むところですが、今のところは現状維持で続けるつもりでいます。

3. 交流クラブの会報類を回覧

札幌支部報9月号、NHK事務局通信No.85号を回覧しました。

11月例会のお知らせ

11月26日(土)午後1時30分~5時

通常の例会で自主作品の発表がメインです。10月の公開セミナーで勉強した“音入れ”の知識と技量を早速生かして、作品の質の向上を目指しましょう！

(編集後記) 今年で4回目になる公開セミナーは多数の参加申し込みを受けております。主催者として成功裡に終了することを願っています。

また、例会で有益な助言を頂いている3人のアドバイザーの方々には、お仕事を割いてボランティアでお出で頂き、恐縮かつ申し訳なく思いますが、引き続き宜しくお願いいたします。

(渡辺 實 記)